

NEC

CBZ-001787-001-01

2017 年 2 月 2 版

N8160-98 外付 DVDSuperMULTI ドライブ

ユーザーズガイド



本書は、必要とときすぐに参照できるよう、お手元においておくようにしてください。本製品をご使用になる前に本書を必ずお読みください。  
本製品はExpress5800シリーズ専用のUSBインターフェースに接続する光ディスクドライブです。

使用上のご注意

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全に関わる表示について




本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には本製品のどこが危険か、どのような危険に遭う恐れがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。



本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。		<b>注意</b>	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。
--	-----------	------------------------------	---	-----------	-------------------------------------

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。





	<b>注意の喚起</b>	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意
	<b>行為の禁止</b>	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止
	<b>行為の強制</b>	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜け

(本書での表示例)


注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		
	<b>日本国外で使用しない。</b> 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この製品を日本国外で使用するとう火災や感電の原因となります。	

本書およびラベルで使用する記号とその内容



注意の喚起

	感電の恐れがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		レーザー光による失明の恐れがあることを示します。

行為の禁止








	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	指定した場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		指定しない一般的な禁止を示します。



行為の強制

	本体装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	---	---	--




安全上のご注意

全般的な注意事項

	
	<b>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない。</b> 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
	<b>煙や異臭、異音が生じたまま使用しない。</b> 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
	<b>本製品の内部をのぞかない</b> 本製品はレーザーを使用しています。電源が ON になっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)
	<b>分解・修理・改造はしない。</b> 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。 本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	
	<b>針金や金属片を差し込まない。</b> 本製品のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

	
	<b>日本国外で使用しない。</b> 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この製品を日本国外で使用するとう火災や感電の原因となります。

ご使用中の注意事項

	
	<b>雷がなったら触らない。</b> 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。
	<b>ペットを近づけない。</b> 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品内部に入ると火災や感電の原因になります。

## 設置・移動・保管・接続に関する注意事項



### 指定以外の場所に設置・保管しない。

本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。



### 指定以外のインターフェースケーブルを使用しない。

インターフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブル・コネクタを使用しない。
- ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。



### 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない。

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本製品内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合には、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



### 中途半端に取り付けけない

電源コードやインターフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

## VCCI について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B

## レーザー安全基準について

本製品は、レーザーに関する安全基準 (IEC 60825-1, EN60825-1) クラス1に適合しています。

## 製品の譲渡と廃棄について

### 第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡 (または売却) するときは、本書ならびに添付の部品などいっしょにお渡しください。

### 製品の廃棄について

本製品の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

## 商標について

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windows Server 2012 は、Windows Server® 2012 Standard operating system および Windows Server® 2012 Datacenter Edition operating system の略です。

Windows Server 2012 R2 は、Windows Server® 2012 R2 Standard operating system および Windows Server® 2012 R2 Datacenter Edition operating system の略です。

Windows Server 2008 は、Microsoft® Windows Server® 2008 Standard Edition operating system および Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise operating system の略です。

Windows Server 2008 R2 は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Edition operating system および Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Edition operating system の略です

Windows Server 2003 は、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition operating system

および Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition operating system または、Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition operating system および Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition operating system の略です。

Windows Server 2003 x64 Editionsは、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise x64 Edition operating systemまたは、Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略です。

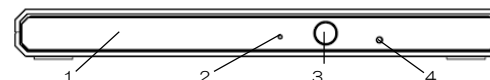
## 1. 構成品

本製品の構成品は以下の通りです。確認してください。

項番	品 名	数量	備考
1	外付 DVDSuperMULTI ドライブ	1	
2	専用 USB ケーブル	1	
3	B's Recorder	1	書き込みソフトウェア
4	ユーザーズガイド	1	本書
5	保証書	1	

## 2. 各部の名称と機能

＜前面＞



1 トレー

ディスクを置く場所。

2 アクセスランプ

電源が入っているときにアクセスランプは次のように点灯する。

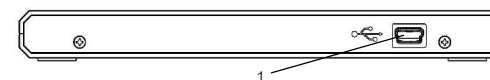
3 イジェクトボタン

ディスクを取り出すときに押すボタン (電源がOFFのときおよびプログラムで禁止されているときは動作しません)。

4 強制イジェクトホール

ピン (まっすぐに伸ばしたクリップなど) を押し込むと、手動でトレーをイジェクトできる (イジェクトボタンやソフトウェアからイジェクトできないときに使ってください)。

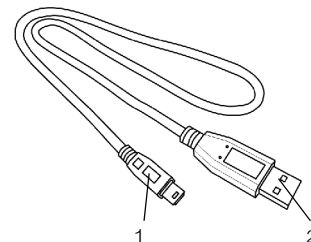
＜背面＞



1 Mini-USBポート

付属のUSBケーブルを接続します。

＜専用USBケーブル＞



1 Mini-USBコネクタ

外付DVDSuperMULTIドライブのMini-USBポートへ接続します。

2 USBコネクタ

本体装置のUSBコネクタへ接続します。

### 3. 取り扱い上の注意

重要：

DVD-RAMを代表とする光ディスクは簡易バックアップメディアであり、重要なデータのバックアップにはより信頼性の高いテープ装置等をお勧めします。

なお、本書に記載されている推奨ディスク以外を使用した場合は、動作不正を発生する可能性があります。

記録データの補償について

本製品を使用して光ディスクに記録されたデータの補償、および光ディスクの損失につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

使用するディスクについて

<CD-Rディスク>	三菱化学メディア製または太陽誘電製
<CD-RWディスク>	三菱化学メディア製
<DVD-RAMディスク>	パナソニック製または日立マクセル製
<DVD-Rディスク>	三菱化学メディア製または太陽誘電製
<DVD-RWディスク>	三菱化学メディア製
<DVD+Rディスク>	三菱化学メディア製
<DVD+RWディスク>	三菱化学メディア製
<DVD±R DL（2層）ディスク>	三菱化学メディア製

#### 本製品の取り扱いについて

本製品を使用する際は次の点に注意して取り扱ってください。

- 本製品は水平に設置してください。
  - 本製品は本体装置の USB コネクタへ直接接続してください。USB ハブを経由しての動作は保証しません。
- ※本製品が接続可能な本体装置は、システム構成ガイドに記載されております。
- 本製品に光ディスクをセットしたまま移動させないでください。
  - 本製品にレンズクリーナ(クリーニングディスク)を使用しないでください。
  - 本製品にブルーレイディスクを入れないでください。本製品ではそれらのディスクを認識しません。
  - 本製品の接続先USBポートと隣接するUSBポートにデバイスを接続すると正常に動作しない場合があります。
  - 本製品にディスクを装着したまま放置しないでください。ほこり等が付着して故障の原因となります。
  - 定期的にトレーをクリーニングしてください。ただし、クリーニングの際にレンズに触れないよう注意してください。
  - 1 か月に 1 回、EXPRESSBUILDER等のディスクの読み込みが正常に行えるかどうかを確認してください。

#### ディスクへの書き込みについて

①データ書き込み後、データコンペアを実施ください。

②データを書き込む際はオペレータがその都度操作するようにしてください。(無人でのデータ書き込みはしないでください)

#### 書き込みエラーについて

本製品を使用してディスクにデータを書き込まれる場合に光ディスクドライブの特性上、使用する環境やディスクの特性などにより書き込みエラーが発生する場合があります。

クリーニング後も書き込みエラーが発生するディスクは、交換してください。

#### ディスクに書き込みをする前に

●本製品を使用して、著作権者の許可なしに、音楽CDおよびアプリケーションを複製することは個人的に利用するなどの場合を除き、法律により禁じられています。

●DVD-R、DVD+R、CD-Rは書き込みエラーを起こすとディスクの一部または全体が扱えなくなることがあります。

書き込みエラーによるディスクの損失を防ぐため、以下について注意してください。

- ー アプリケーションソフトなどメモリを大量に消費するおそれのあるプログラムを終了する。
- ー スクリーンセーバを停止する。
- ー ウィルスチェッカーやシステムエージェンシなどディスクチェックを行うプログラムを終了する。
- ー スケジュールや時計など書き込み中に起動するおそれのあるものは、起動しないようにする。
- ー パワーマネージメント設定における省電力設定を解除する。
- ー 書き込み中にアプリケーションを起動しない。

#### ディスクの取り扱い

本製品にセットするディスクは次の点に注意して取り扱ってください。

- 本製品は、CD/DVD規格に準拠しない「コピーガード付きCD/DVD」などのディスクにつきましては、CD/DVD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- ディスクを落とさないでください。
- ディスクの上にものを置いたり、曲げたりしないでください。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。
- 信号面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。
- 文字の書かれている面を上にして、トレーにていねいに置いてください。
- キズをつけたり、鉛筆やボールペンで文字などを直接ディスクに書き込まないでください。
- たばこの煙の当たるところには置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど温度の高くなる場所には置かないでください。
- 指紋やほこりがついたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けてゆっくり、ていねいにふいてください。
- 清掃の際は、各ディスク専用のクリーナをお使いください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
- 使用後は、専用の収納ケースに保管してください。

#### ディスクの書き込み／読み込みエラーに対するトラブルシューティング

ディスクにほこりがついていたりするとデータを正しく書き込めなかったり読み込めないことがあります。

ディスクにアクセスできない場合、次のことを確認してください。

□ディスクの表裏を間違えてセットしていませんか？

→本製品からディスクを取り出し、ディスクのトップレーベルを上にして、セットし直してください。

□ディスクに汚れやキズがありませんか？

→ディスクの表面に指紋などの汚れやキズがないことを確認してください。

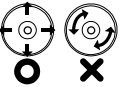
汚れがある場合は、ディスクの表面をクリーニングしてください。それでも書き込みまたは読み込みができない場合は、アクセスが可能な別のディスクに入れ替えて、再度、書き込みまたは読み込みができるかどうかを確認してください。

重要：

ディスクは、中心から外側に向けてふいてください。

クリーナをお使いになるときは、各ディスク専用のクリーナであることを確かめください。

レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなったり、本製品にそのディスクをセットした結果、故障したりするおそれがあります。



□本製品に適合した書き込みソフトおよび推奨ディスクを使用して書き込みをしましたか？

→書き込みドライブ、書き込みソフト、およびディスクの組み合わせが正しくない場合は、本製品で読み込めないまたは書き込めないことがあります。

#### 書き込み時間または読み込み時間の変動について

本製品は、セットしたディスクの状態を検出し、最適な書き込み速度または読み込み速度に調整する機能を有しているためディスクの状態により書き込みまたは読み込みが完了するまでの時間が異なる場合があります。

#### 近くでスマートフォンや携帯電話、PHS を使わない

本製品のそばではスマートフォンや携帯電話、PHSの電源をOFFにしておいてください。  
電波による誤動作の原因となります。

## 静電気対策について

### 製品の取り付け/取り外しについて

#### 1. 準備確認事項

(1) 危険防止及び故障防止のため作業を行なう際には、本体装置の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。但し、ホットスワップ（活線挿抜）対象製品の取り付け/取り外し時の電源スイッチのOFFおよび電源プラグのコンセントからの取り外しは除きます。

(2) 本製品は静電気に弱い電子部品で構成されています。製品の取り付け/取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するため静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所に接続して使用してください。

#### (3) ケーブルの取り扱い

LANケーブル等のケーブルを接続する場合も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。帯電した状態で入出機器に接続すると機器を破壊することがありますので接続する前には除電キット等を使用して除電することを推奨します。

#### 注）静電気除電キットについて

下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

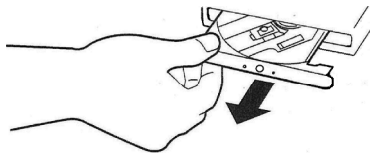
品名：LANケーブル除電治具

型名：SG001（東京下田工業（株）製）

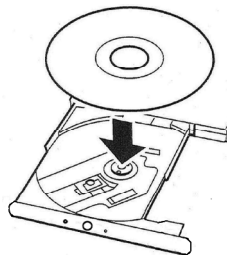
### ディスクのセット/取り出し

ディスクは次の手順でセットします。

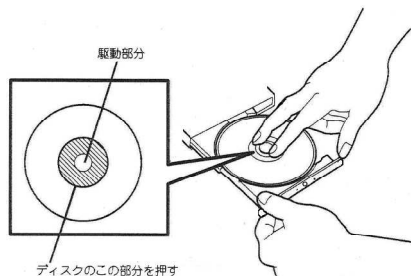
1. ディスクをドライブにセットする前に本体装置と接続されているかを確認する。
2. ドライブ前面のイジェクトボタンを押す。（トレイが少し出てきます）
3. トレーを軽く持って手前に引き出し、トレイが止まるまで引き出す。



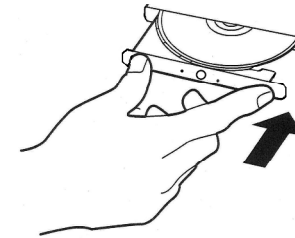
4. ディスクの文字が印刷されている面を上にしてトレイの上に静かに、確実に置く



5. 図のように片方の手でトレイを持ちながら、もう一方の手でトレイの中心にある駆動部分にディスクの穴がはまるように指で押して、トレイにセットする。



6. トレーの前面を軽く押して元に戻す。

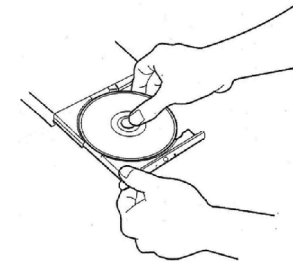


ディスクのセット後ドライブの駆動音が大きく聞こえるときはディスクをセットし直してください。

ディスクの取り出しは、ディスクをセットするときと同じようにイジェクトボタンを押してトレイを引き出します。アクセスランプが点灯しているときはディスクにアクセスしていることを示します。イジェクトボタンを押す前にアクセスランプが点灯していないことを確認してください。

図のように、トレイの中心にある駆動部分を押さながらディスクの端を軽くつまみ上げるようにしてトレイから取り出します。

ディスクを取り出したらトレイを元に戻してください。



ディスクの回転が完全に止まるまでディスクに手を触れないでください。

### 取り出せなくなったときの方法

イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない場合は、次の手順に従ってディスクを取り出します。

1. 本体の電源がOFF（POWERランプが消灯）になっていることを確認する。



強制イジェクトホール

2. 直径約 1.2mm、長さ約 100mm の金属製のピン（太めのクリップを引き伸ばして代用できる）をトレイの前面にある強制イジェクトホールに差し込んでトレイが出てくるまでゆっくりと押す。



- ・ つま楊枝やプラスチックなど折れやすいものを使用しないでください。
- ・ 上記の手順を行ってもディスクが取り出せない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

3. トレーを持って引き出す。
4. ディスクを取り出す。
5. トレーを押して元に戻す。

本製品の取り外しについて

本製品を本体装置から取り外すときは、本製品にディスクがセットされていないことを確認してから、取り外してください。

Windows Server 2003、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、および Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 動作中は、必ず OS 上で取り外し操作を実施してから取り外してください。

Windows Server 2003、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、および Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 動作中に本製品の取り外し操作を実施するためには、タスクバー上に表示される下記の名称のアイコンで行います。

- Windows Server 2003、Windows Server 2003 x64 Editions および Windows Server 2008
- ◆ハードウェアの安全な取り外し
- Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2
- ◆ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す

光ディスクドライブ交換時のご注意

光ディスクドライブ交換後、ドライブレターが変更されることがあります。

Windows のマイコンピュータから、光ディスクドライブのドライブレターが変更されていないか確認して下さい。

※ドライブレターとは、Windows でドライブ毎に割り当てられるアルファベットです。

変更されている場合は、以下の手順でドライブレターを元に戻すことが出来ます。

1. Windows を起動後 Administrator 権限を持つアカウントでログインします。
2. コントロールパネルの管理ツールからコンピュータの管理を起動し、ディスクの管理を選択します。
3. 光ディスクドライブが表示されている部分を“右クリック”し、「ドライブ文字とパスの変更」を選択します。
4. ドライブレターを元に戻します。

4. 仕様

接続可能インターフェース	USB2.0(USB1.1 / USB3.0)
データ転送速度	480Mb/s
外形寸法	140 mm(幅) x 136.3 mm(奥行き) x 13.5 mm(高さ)
重量	0.22kg以下
電源(定格)	DC+5V 1.5A
環境条件(動作時)	温度 10℃～35℃ 湿度 20%～80%（結露なきこと）

本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、お買い上げになった販売店または最寄りの当社指定のサービス窓口へご連絡下さい。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

本書の内容は予告なく変更することがあります。

本書は再生紙を使用しています。